特集3

保護者の心をばっちりつかむ!

# 信頼関係を深める懇談会

執筆／黒崎知子（東京・武蔵野東第一・第二幼稚園）

保護者との信頼関係づくりのベースとなるのが、年度始めの懇談会。その際に心掛けたいことをまとめました。保護者の心をばっちりつかんで、有意義な懇談会にしましょう！

## 懇談会の目的と伝えたいこと

年度始めの懇談会では、「保護者がこの一年に期待がもてるように！」「この先生なら安心！」と感じてもらえるように」することを大切にしたいですね。

園の方針に加えて「今年度の重点（特に力を入れていきたいこと）」を伝えます。教育・保育の方針は土台として大切にしながら、要領・指針の改訂（定）や時代の変化に応じて、「創造性を育む」「預かり保育の充実」などを、より良くしていく姿勢があることを示していきます。更にクラス懇談会では、自己紹介や一年間のクラスづくりについて、また、年齢の育ちの見通しなどを伝えていきます。

## 信頼につながる準備

懇談会では、「第一印象」につながる準備をすることが大切です。

『月刊／保育とカリキュラム』保育雑誌〝初〟の「保育実践研究雑誌」として、ひかりのくに株式会社から、昭和二十七年に出版されました。

## 1 子どもたちの様子が目に浮かぶように

ふだんの保育の様子がよく分かる写真にふきだしを付け、コメントや「学びや育ちの捉え」を書き加えて掲示します。また、子どもたちが作った物や絵を飾り、遊びの足跡を示しましょう。口頭での話に加えて、保護者が遊びや生活をイメージしやすいようにすることが大切です。

## 2 温かな雰囲気に

子どもが使っているくじ引きで、保護者もグループを決めたり、アイスブレイクのゲームをしたりして温かな雰囲気をつくります。更に、「休日のお出掛けスポット」「おすすめ家電」など、話題を提案して、良いコミュニケーションの場になるようにします。

## 3 一緒に育てていくという姿勢で

一方的に保育者が話を進めるのではなく、家庭での様子を聞き、一人ひとりの個性を理解するようにしていきます。保護者の話に共感したり、困り事を共有したりしながら、子どもの育ちを園と家庭とで支えていくことを伝えていきます。

## 4 子どもへの愛情をたっぷりと

子どもたちのしぐさやおもしろい場面を捉えて、「心がほっこりしました」など、子どもたちが大好きで、かわいくて仕方がないことを伝えることも大切です。保護者にとって「先生は我が子が好きなんだな」と感じられることは最高の喜びです。

## 5 時間を守る

開始・終了時間は必ず守るようにします。保護者は、時間を守っている方が大半です。懇談会中、祖父母や施設に託児をしている方もいますし、会の後に予定がある方もいます。時間通りに始め、終えることが、信頼につながります。

## 保護者との信頼関係を深めるための取り組み

### 「挨拶」

いろいろな保育者の挨拶を聞き、新人もベテランも互いに良い部分を取り入れられるようにしたいですね。実践的な練習を行ない、保護者の前での緊張が少しでも和らぐようにしましょう。新人保育者が挨拶する際に大切なのは、「初めてなので何も分かりませんが…」など、謙遜した表現を避けることです。保護者にとっては心配のもとになってしまいます。

### 「書類」

配布書類が多い場合は、事前に複数名で確認するようにしましょう。また、懇談会中に保護者と書類確認をしやすいように、重ねる順も考えてそろえておきます。

### 「保護者からの質問」

事前に想定される質問は、保育者間で共有できると良いでしょう。それでも想定外の質問はあるものです。分からないときは即答せずに、事後に内容を精査して、丁寧に答えるようにしましょう。

※2019年5月号に、本園の取り組みについて、黒崎教諭の執筆記事が掲載されました！